



台湾との経済交流促進に向けて意見交換

村瀬県連会長 三三企業交流会、台日商務交流協進会を訪問 幹部と面談

岐阜県商工会議所連合会（会長 村瀬幸雄）では、去る1月17日に台湾のトップ企業100社の大半が加盟する経済団体「三三企業交流会」、「台日商務交流協進会」を訪問し、同協進会の鄭文哲顧問ら7名と意見交換を行いました。同協進会は名古屋商工会議所や大阪商工会議所、大分商工会議所連合会など国内の複数の商工会議所、同連合会と覚書を締結しています。

今回の面談では、岐阜と台湾との経済交流・貿易関係強化に向けて意見交換がなされました。同協進会の鄭文哲顧問は「岐阜を訪れ、鵜飼を楽しんだ経験がある。岐阜の企業と交流があり、3月に台湾でお会いする予定だ」と述べられ、村瀬会長は「台湾とは岐阜県や農協との交流はこれまでもあったが、経済団体同士での交流は今回が初めて。今年は大阪・関西万博が開幕する。飛騨地方だけでなく、是非岐阜市など県の南地域にも足を運んでもらいたい」と県内企業との経済交流促進に期待を込められました。

「岐阜フェア in 台湾」開催

販路開拓の契機に

岐阜県商工会議所連合会、大垣商工会議所では、去る1月17日～1月20日の4日間、台湾・台北市内の百貨店「新光三越信義新天地」にて「岐阜フェア in 台湾」を開催しました。このフェアは、海外に販路を求める県内事業者に対して、挑戦する機会を設けようと同会議所および連合会が企画し、初開催に至りました。県下の商工会議所会員企業から食品のほか、地酒、伝統工芸品など計11社、21品目が店頭に並びました。そのほか、飛騨牛の試食や観光ブースを設け、岐阜をPRしました。



村瀬会長（右）鄭文哲顧問（左）

場所：台日商務交流協進会オフィス



初日には、岐阜県商工会議所連合会の村瀬幸雄会長が視察に訪れました。場所：台北市、新光三越